

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-23	文化行政推進事業	☒ 自治事務	主管課	文化課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を図るため。
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図る。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・子どもたちが日本の伝統的な芸術文化に接し、関心を高める機会として、文化プログラム事業(鎌倉こども能)及び伝統文化伝承事業を行った。	
・エリアナ・パヴロバ顕彰碑の案内板を設置した。	
・旧前田邸の管理業務を行った。	
・市民文化祭は、展示部門として美術・写真・書道の公募展と鎌倉彫・華道の団体展、舞台行事部門は市民団体による音楽及び演劇等を実施した。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標（単位）	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標（実績値／目標値）		指標（目標値）	
				事業費（決算／当初）（千円）		予算額（千円）	
01	ゆめひかる文化芸術 子ども表彰事業	ゆめひかる文化芸術 子ども表彰記念品（印刷製本費）	—	— / —	—	—	—
				25 / 20	100		
02	鎌倉こども能事業	文化プログラム事業委託料	参加人数（人）	20 / 20	20	100%	
				1,936 / 1,936	2,123		
03	鎌倉市民文化祭事業	鎌倉市民文化祭負担金	観覧者数（人）	7,641 / 15,000	10,000	51%	
				4,322 / 5,500	5,500		
04	文化活動補助事業	鎌倉市文化協会補助金 等	—	— / —	—	—	—
				613 / 817	1,062		
05	旧前田邸維持管理事業	旧前田邸機械警備委託料等	—	— / —	—	—	—
				377 / 1,180	1,191		
06	文化行政推進事業	文化行政推進事業消耗品等	—	— / —	—	—	—
				80 / 326	425		
07	伝統文化伝承事業	伝統文化伝承事業委託料	参加人数（人）	568 / 500	500	114%	
				5,000 / 5,000	7,181		
08	エリアナ・パヴロバ顕彰碑管理事業	エリアナ・パヴロバ顕彰碑敷地管理業務委託料	—	— / —	—	—	—
				160 / 195	100		
09	流鏑馬用地賃貸借事業	用地賃借料等	—	— / —	—	—	—
				— / —	10,308		
		財源内訳	国県支出金	— / —		—	
			地方債	— / —		—	
			その他特定財源	200 / 151	201		
			一般財源	12,313 / 14,823	27,789		
		事業費の合計（千円）			12,513 / 14,974	27,990	
人件費（千円）			17,370		21,016		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	2.0	3.0	2.0	2.0	2.3
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	ゆめひかる文化芸術子ども表彰事業	表彰の候補者は各学校や保護者、関係者からの推薦や自薦であり、指標の設定は馴染まない。	文化芸術活動で優秀な成績を収めた子どもを表彰し、応援することで、子どもたちの文化芸術活動に対する意欲を高めることを目的としており、市民の文化芸術活動の質的向上に寄与する。	—
02	鎌倉こども能事業	令和5年度から発表会の一般応募枠を復活させたことが寄与し、市民の関心を高めることに繋がり、目標値を達成することができた。	日本の伝統的な芸術文化に接することで、感動を味わい、関心を高める機会の提供を目的としており、歴史を継承し文化を創造するまちづくりに寄与する。	令和6年度の参加者20人のうち、初めて参加した児童が8人いた。今後も新しい児童に参加して貰えるように、さらに広報活動を充実させ関心を高める必要がある。
03	鎌倉市民文化祭事業	目標値に達成しなかった理由として、昨年度に続き、鎌倉市展のうち、菊花展が菊の生育不足により中止となり、想定した観覧者数2万人が得られなかったことも要因の一つであるものの、広報活動が不十分だったことが考えられる。	市民の文化芸術活動の質的向上に寄与する。	より多くの方に知ってもらえるように周知や広報について工夫する必要がある。また、多くの方が参加できるようなイベント実施も検討していく必要がある。
04	文化活動補助事業	文化芸術活動を推進するための、団体等に支給する補助事業等であり、指標の設定には馴染まない。	市民の文化芸術活動の質的向上に寄与する。	—
05	旧前田邸維持管理事業	旧前田邸の活用については、建物の用途上の制限や改修等に係る費用などの課題が多いため、指標の設定には馴染まない。	今後も本市の文化行政に寄与するよう、旧前田邸の維持管理を行い、活用について検討する。	旧前田邸の活用には、耐震やバリアフリーのための改修等に係る多額の費用が必要である。
06	文化行政推進事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	各事業の円滑な実施の実現のため。	—
07	伝統文化伝承事業	令和4年度から継続的に行っていることで、認知度がより高まったことで、目標値上回る参加者が集まった。	子どもたちが鎌倉彫、能、茶道といった鎌倉に古くから伝わる伝統芸能や文化に触れる機会を提供し、次代を担う世代への興味、関心を高めることを目的としており、歴史を継承し文化を創造するまちづくりに寄与する。	—
08	エリアナ・パブロバ顕彰碑管理事業	一時的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	鎌倉ゆかりの人物の功績を記念した顕彰碑を維持修繕することで、今後も広く市民に触れる機会を提供でき、市民の文化芸術活動の質的向上に寄与する。	—
09	流鏝馬用地賃貸借事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	日本の流鏝馬文化に接することで、関心を高める機会の提供を目的としており、歴史を継承し文化を創造するまちづくりに寄与する。	—

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市民文化祭企画運営委員会、市民団体

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
妥当性については、市民文化祭のアンケート結果や開催中に来場者から寄せられる意見等において、次年度の開催に期待を寄せる声が多く寄せられていることから、「市民ニーズは変わらずにある」とした。 有効性、事業の上位施策に向けた貢献度については、事業の実施方法等に工夫の余地が認められる。 協働については当該事業の中で最も観覧者数等の多い鎌倉市民文化祭を市民等で構成する企画運営委員会と共に行っている。 今後も費用対効果を考慮しながら、事業手法等を検討し、事業を通じて、より多くの市民の文化活動の活性化に資するよう、市民文化祭のような活動の場の提供や子どもが芸術文化や伝統文化に触れる機会の提供に取り組んでいく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	当市の相対的な位置付けを他市との比較値によって測る定量評価には、事業の性質上、馴染まないと考える。
--------------------------	---